

那須田 晃子 (なすだ あきこ)

2011年度 COE フェロー

連絡先: ed092001@g.hit-u.ac.jp

専攻分野: 開発経済学

研究テーマ: マイクロデータを用いた途上国の児童労働分析

博士学位請求論文題目 (予定): “On Child Labor in Developing Countries: Empirical Study Using Micro Data”

学 歴

2004年3月 静岡大学人文学部経済学科卒業

2009年3月 一橋大学大学院経済学研究科修士課程 (応用経済専攻) 修了, 経済学修士

2009年4月 一橋大学大学院経済学研究科博士課程 (応用経済専攻) 入学

現在 同課程在学中

職 歴

2008年10月 ~ 2010年9月 独立行政法人経済産業研究所 RA (川口大司准教授)

2009年4月 ~ 2009年8月 一橋大学国際・公共政策大学院 TA (計量経済分析担当)

2009年4月 ~ 2009年8月 一橋大学 大学教育研究開発センターTA (情報処理入門担当)

2009年10月 ~ 2010年2月 一橋大学経済学部 TA (経済学入門担当)

2010年10月 ~ 2011年2月 一橋大学経済学部 TA (基礎ミクロ経済学担当)

2010年4月 ~ 現在 一橋大学経済研究所 RA (櫻井武司教授)

2010年4月 ~ 現在 一橋大学 GCOE 「社会科学の高度統計・実証分析拠点構築」
GCOE フェロー

研究業績

論文:

[1] 那須田晃子(2009)『児童労働は教育と代替関係にあるか?—カンボジア農村のタイム・ユース・データを用いた実証分析—』, 修士論文.

[2] 那須田晃子(2011)「土地貸借は資産矛盾効果を緩和させるか?」, 『アジア経済』
(forthcoming) [査読付き]

[3] 櫻井武司・那須田晃子・木附晃実・三浦憲・山内太郎・菅野洋光(2011)「家計の脆弱性と回復力—ザンビアの事例—」, 『経済研究』第62巻第2号, pp.166-187. [査読付き]

[4] Sakurai T, Nasuda A, Kitsuki A, Miura K, Yamauchi T, Kanno H. (2011) “Vulnerability and resilience of household consumption and their determinants: the case of the Southern Province of Zambia”. *Vulnerability and Resilience of Social-Ecological Systems FY2010 FR4 Project Report*, pp.48-62. [査読なし]

[5] A. Nasuda, H. Kanno and T. Sakurai (2011) “Analysis of Impact of Heavy Rainfall Shocks on Time Allocation Changes in Rural Zambia”. *Vulnerability and Resilience of Social-Ecological Systems FY2010 FR4 Project Report*, pp.89-103. [査読なし]

学会報告：

[1] 「児童労働は教育と代替関係にあるか？—カンボジア農村のタイム・ユース・データを用いた実証分析—」2009年度日本経済学会秋季大会，2009年10月10日，於専修大学。

[2] 「土地貸借は資産矛盾効果を緩和させるか？—カンボジア農村の時間使用データを用いた実証分析—」第5回応用計量経済学コンファランス，2010年11月14日，於大阪大学社会経済研究所万博オフィス。

[3] 櫻井武司・那須田晃子・木附晃実・三浦憲・菅野洋光・山内太郎「ザンビアの半乾燥熱帯における降雨変動と農民の回復力」日本地球惑星連合科学大会，2011年5月26日，於幕張メッセ国際会議場

[4] 那須田晃子・櫻井武司・菅野洋光「Analysis of Impact of Heavy Rainfall Shocks on Time Allocation Changes in Rural Zambia」2011年度日本農業経済学会大会，2011年6月10日，於早稲田大学

[5] 櫻井武司・那須田晃子・木附晃実・三浦憲・菅野洋光「家計消費のレジリアンスの計測—ザンビアの南部州の事例—」2011年度日本農業経済学会大会，2011年6月10日，於早稲田大学

[6] Nasuda, A., H. Kanno, T. Sakurai, “Impact of Heavy Rainfall Shocks on Time Allocation in Rural Zambia,” Resilience International Symposium, Building Social-Ecological Resilience in a Changing World, 18-20 June 2011, Kyoto, Japan.

[7] Sakurai, T., H. Kanno, T. Yamauchi, H. Shimono, A. Nasuda, A. Kitsuki, K. Miura, S. Kon, and H. Kubo, “How to Integrate Social Science and Natural Science in the Study on Socio-Ecological Resilience: The Case of Southern Province of Zambia,” Resilience International Symposium, Building Social-Ecological Resilience in a Changing World, 18-20 June 2011, Kyoto, Japan.

その他特記事項

2010年11月 第5回応用計量経済学コンファランス優秀賞受賞

照会先

黒崎卓（一橋大学経済研究所教授），川口大司（一橋大学大学院経済学研究科准教授）